

HSK NPO 法人「文福」ニュース



NO.287

### 冒頭の一言

2024 年の新しい年度が始まって 1 か月が経ちました。新しい環境になった方はだいぶ慣れたのでしょうか？そうでない方も学生や社会人の新 1 年生らしき人を見て、初々しい気持ちになっていたのではないのでしょうか。

5 月と言ったらゴールデンウィークですが、皆さんは何か予定はありますか？

旅行やイベントに行くのは楽しいはずですが、その前の計画を立てている時や予定が決まって当日までのそわそわした感じも楽しみのひとつではないのでしょうか。

せっかくのおでかけしやすい季節になったのですから遠くに行かなくとも、ちょっとした計画を立ててみて、あのわくわくやそわそわを感じてみてもいいのではないのでしょうか。

ゆき

### —もくじ—

冒頭の一言 … 1       「ぼっちゃん DE あそボツチャ」報告 … 2-3  
ぼっちゃん DE あそボツチャ！に参加して 中村かおる … 4  
連続学習会のお知らせ … 5       障害者用トイレのこと 八木勝自 … 6-7  
penko … 8-9       運営会議報告 … 10       今後の予定 … 11  
ありがとうコーナー … 12

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
（一）回、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八（日）発行

## 「ぼっちゃんDEあそボッチャ」報告

去る3月16日(土) 天気の良い午後、富山市障害者福祉プラザで「ぼっちゃんDEあそボッチャ」を行いました。

今年は車いす利用者の方が数名、様々な障害のある方々、ヘルパーなど小学生から大人まで史上最多の28名が参加されました。

10チームを二つのコートに分けてリーグ戦で各自10試合行われました。

「ボッチャ」が初めての方や、車いすで参加された方々は、どうやってボールをうまく投げたらよいか、周りの方のアドバイスを受けながら、試合を楽しんでおられた様子が見られました。

試合によっては、大量に得点が入ったところがあれば、勢い良く投げてアウトになったり、目標のジャックボール(白いボール)の近くに来た時や、他のチームのボールを当てた時などは歓声を上げていました。

最後にトーナメントで優勝決定戦を行う予定でしたが、時間の都合で各コートの1位が優勝となりました。

参加者全員が笑顔でゲームを終え、記念撮影をして解散しました。

参加された方々から、

「初めてだったけど楽しかった。」

「体を動かす機会があまりないのでよかった。」

参加者から「楽しかった」と家族に話してくれた。

などの感想が寄せられました。

参加されたみなさま、ありがとうございました。

報告：森田



こーんな感じで白いボールを中心に競い合っています。



思ったところに投げられているかな？



白い細長いのが「ランプス」です。

## ぼっちゃ DE あそボッチャ！に参加して

中村かおる

3月16日夢宙人企画の『ぼっちゃ DE あそボッチャ！』に参加してきました。

お昼は外食でピザを食べ、午後からは大勢でボッチャをして楽しんできました。

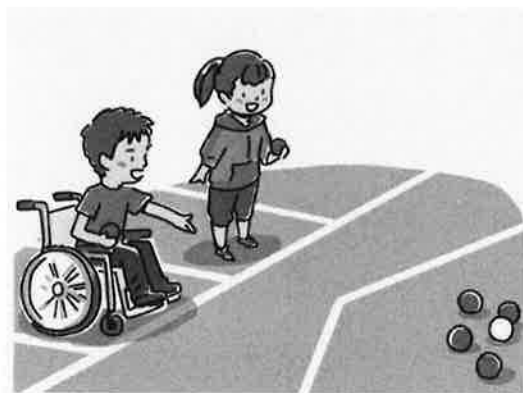
ボッチャをしたのはまだ実家の魚津にいて、身体障害者ディサービスに通っていたころ以来なので7・8年ぶりになります。

あれからだいぶ年齢を重ねたので「はたして今の私にボッチャができるのかなあ。」と心配しながらの参加でしたが、何とか怪我もせず楽しく参加させてもらってきました

足を高く上げてのボール操作はさすがにちょっと疲れましたが、美味しいピザを食べ、久々にじんわり汗をかく運動をして心地よい疲れを感じて、その日はぐっすりと眠れたのは言うまでもありません。

歳を重ねた車椅子の障害者でも、たまには軽いスポーツを皆なで行うのも良いなと思いました。

関係者の皆さん、お疲れ様でした。そして楽しい時間をありがとうございました。



## 生と死を考える会

さて、今年度の学習会は、最初にDVDを見て考えてみようという事で、企画しました。学習会ではずっと、「安楽死」の問題を取り上げて来ています。

引き続き取り上げていくことにしようと思っています。誰もが平等に歳を重ねて行きます。そんな時に、私達は、どのようにしていきたいかを、この映画は問いかけていると思うのです。ぜひ、この機会に、参加して考えていきませんか？

お待ちしております。

### PLAN75

#### ●ストーリー

少子高齢化が一層進んだ近い将来の日本。満 75 歳から生死の選択権を与える制度<プラン 75>が国会で可決・施行された。様々な物議を醸していたが、超高齢化問題の解決策として、世間はすっかり受け入れムードとなる。

夫と死別してひとりで慎ましく暮らす、角谷ミチ（倍賞千恵子）は 78 歳。ある日、高齢を理由にホテルの客室清掃の仕事を突然解雇される。住む場所をも失いそうになった彼女は<プラン 75>の申請を検討し始める。一方、市役所の<プラン 75>の申請窓口で働くヒロム（磯村勇斗）、死を選んだお年寄りに“その日”が来る直前までサポートするコールセンタースタッフの瑤子（河合優実）、フィリピンから単身来日し<プラン 75>の関連施設で働いているマリア（ステファニー・アリアン）は、このシステムの存在に強い疑問を抱いていく……。



日 時 5月18日（土）午後1時30分～

場 所 サンフォルテ 307号室にて

参加費 無料

問い合わせ：河上まで

## 「公共の建物や、整備の中の障害者トイレなどの

### 障害者用はもう終わったのか」

八木 勝自

70年代か70年代後半から、公共のトイレの横や公園の一般トイレの横には車椅子マークを貼ったスロープや、洋式トイレがある所には、一般トイレとは別に車椅子マークが貼ってあって、障害者用となったり、障害者専用のところになっていました。

私はそれらに対して、80年代の頃から違和感を持ち、反対してきました。何故反対していたかという、障害者が使えるという、一般トイレが区別されるのはおかしいし、先に言ったように障害者トイレは、トイレを和式から洋式に変えられたり、中を少し広くしたりしただけであって、中で私が1人でもしていた頃に事故にあって、中の通報ボタンを押すこともできず、屋内に閉じ込められて、叫んでも外にはなかなか声が届かず、夜の20時過ぎに叫んでいる声が聞こえたらしくて、障害者トイレに行く人に戸を開けてもらって、助けられたことがあります。

その他、車いす利用者にとっては、障害者だと言われる人に限らず、一般の病弱な人や、妊婦さんや体の弱い人、高齢者も利用できる一般トイレとして増やして欲しいと思うのです。

たまたま障害者用のトイレのドアを開けたら、その床にタバコの吸い殻がいっぱいあったり、ドアを開けたら一般の高校生と思われる男性が出てきたり、ゲイと思われる人が「すみません。身だしなみを直していました。」と言って出て来た時もあります。

それで私は、一般トイレに手すりとしり広い空間と洋式トイレを付けたり増やしたりして欲しいし、現在の公共のトイレはそうなっていると思い、良かったなと思っています。

これからも日本人だけじゃなく、外国の人や、子ども達など、誰もが使える一般トイレを増やして欲しいと思っています。

まあ今は、逆に和式トイレが公共トイレからなくなったと困っている高齢者の方もいるようですが、そういった人も洋式トイレに座って慣れれば楽になるのではないかと考えています。写真を載せて書きたいと思っています。





## Penko のおひとりさま 珍道中!! (Part67)

3 月の下旬に有名人が別の世界に旅立たれました。

「Dr. スランプ」や「DRAGON・BALL」などの作品を生み出した漫画家の鳥山明さんと「ちびまる子ちゃん」のまるちゃんの声で有名になった声優の T A R A K O さん。

どちらも 60 代でした。立て続けにニュースになって驚きとともにとてもさみしい気持ちになりました。

鳥山明さんの作品で、「Dr. スランプ」がアニメ「Dr. スランプ アラレちゃん」として水曜の夜に放映されました。

アラレちゃんは則巻千兵衛博士が作ったロボットで、パトカーを破壊したり、地球を割ってしまうくらいのパワーがあったアラレちゃんの無邪気すぎるころが大好きでした。「んちゃ」「ほよよ」「キーン」などのアラレ語が当時流行っていました。

個性的なキャラクターがたくさん出てきて、名古屋弁を話す宇宙人ニコちゃん大王、栗の形をした大きな頭の栗頭先生、マリリン・モンローのような風貌の山吹先生、梅干を食べて変身するスッパマン、それから可愛く描かれていたウンチくんなど、マンガやアニメも楽しんでいました。

ゲームの「ドラゴンクエストシリーズ」のキャラクターも手掛けており、モンスターやスライムに愛嬌がありました。I～VIまで遊びました。プレイヤーが勇者となり、旅の途中でモンスターと闘いながらレベルを上げて物語を進めていくゲームです。ゲーム中に音楽を聴きながら眠ってしまったこと



もありました。

アニメのアラレちゃんが終わった後、ドラゴンボールが放映され、シリーズ化になり、映画も何本かあります。

強いヤツと戦いたい思いがいっぱい、いつでも前向きな悟空に憧れています。

アラレちゃんと悟空が共演していたこともあります。

ちびまる子ちゃんに関しては、1990年代から始まって現在も放映されています。原作者のさくらももこさんと声が似ているということでTARAKOさんが起用されたそうです。なんだかおっとりとした話し方で、放映が始まったころよくまねをしていました。

TARAKOさんは歌も歌っておられて、声が可愛いんです。

今ごろ違う世界でさくらさんやご両親、まるちゃんのおじいちゃんとお姉ちゃんの声優さんたちと会えていたらいいなと思います。

今後の声優さんが決まり、菊池こころさんという方で、現在映画ドラえもんにも出演されているそうです。どんなまるちゃんを演じてくれるのか楽しみです。

映画も3本製作されており、とてもよいお話になっています。

すべての声優さんに言えることですが、何十年も同じ声をあてるのはすごいなあと思います。悟空は40年近く、サザエさんは50年以上。それだけに愛着があり続けられるのでしょうか。

今まで楽しませてくれてありがとうございました。

4月12日記



## 運営会議報告 2024 年 3 月 26 日(火)現在

### ●学習会

今のところ、予定はない。

### ●障害者部会

元旦の能登半島地震から考慮して、グループ LINE を作成した。

厚生労働省福祉課から公表されている災害マニュアルを参考に事務所に備蓄するものをリストアップする。

0 さんの銭湯入浴拒否の件は 6 ヶ所に断られたものの、マルト三鉱泉での入浴に落ち着いており、今後も通う予定。

### ●介護派遣事業部

アルバイト募集中。7 月ザ・カイジヨ開催予定。

### ●レクリエーション

『ぼっちゃん』は 3 月 16 日(土)に障害者プラザにて開催した。参加者 28 名で人数が過去最高の為、通常はリーグ戦からのトーナメント戦の流れだが、時間の関係でリーグ戦のみとなった。

オンライン飲み会 3 月 23 日(土)のテーマ『電車の思い出』

新しく参加してくれる人をどう誘うかが課題。

次回のオンライン飲み会 6 月 22 日(土)

次回の会議で来年度の予定を決める。

### ●障ちゃんニュース発行部

4 月 1 日(月)発行分は今週中に発送する予定。

次号 5 月 1 日(水)発行は『ぼっちゃん』の報告と感想をメインで編集を進行中。4 月 8 日(月)原稿締め切り、9 日(火)編集会議を行う。

### ●まっち

27 号を無事に発行。

次号 28 号テーマ『花』で、原稿締め切り 4 月末日、発刊 5 月末日

### ●行事

4 月 16 日(火)13 時より呉羽山公園にて花見会

◇次回の運営会議は 4 月 23 日(火)14 時から

報告者：荒戸



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎連続学習会 生と死を考える会 「PLAN75」上映

日 時：5月18日(土)午後1時30分～

場 所：サンフォルテ 307号室にて

参加費：無料

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL 076-460-0390

担当 河上(火・木 12:00から15:00)

### ◎2024年度 第22回 NPO法人文福総会

日 時：6月15日(土)10時30分～

場 所：文福事務所

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL 076-460-0390

(平日 9:00から17:00)

午後からは、記念講演として富山大学教授 林 衛氏をお迎えして、震災・復興についてお話して頂く予定です。

### ◎重度訪問介護従業者養成研修「ザ★カイジョ」

基礎課程：7月6日(土)7日(日)サンフォルテ 307号室

追加課程：7月20日(土)文福事務所

定 員：12名

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL 076-460-0390

担当 森田(火・木 10:00から16:00)

## ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 今後もよろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



あっという間に5月になります。ゴールデンウイークがあり、新緑の季節ですね。今、こうやって書いているのは、3月の終わりなので、先週はまだ雪が降っていました。昨日辺りからようやく暖かくなって春らしくなってきました。今年の桜開花は、4月3日だそうです。夏は、猛暑らしいと聞いていますが、地球温暖化が進んできているのですよね。どうにか食い止めないとイケませんね。（アパッチ）より。

### \* 2023 年度新規会員・継続会費 \*

大塚 聖也さま

### \* いただきもの \*

北野 さま 新田 知子さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 <sup>ぶんぷく</sup> 文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276番地3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。